2022年　5月　25日

報道関係者　各位

コレクション展示
「現代中国を、カワウと生きる—鵜飼い漁師たちの技」

2022年6月30日（木）～8月2日（火）開催

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、コレクション展示「現代中国を、カワウと生きる—鵜飼い漁師たちの技」を、2022年6月30日(木)から8月2日(火)まで開催します。

漁が終了し、カワウを船の止まり木に戻す漁師

[展示趣旨]

鵜飼はカワウやウミウを利用して魚をとる漁法です。現在、中国と日本でみることができます。中国の鵜飼は2000年以上の歴史があるとされ、生業として続いています。本展示は、国立民族学博物館の卯田宗平が中国各地で撮影した鵜飼にかかわる写真と動画を中心に、本館が所蔵する鵜飼い船もあわせて公開することで、カワウと生きる漁師たちの技を紹介するものです。

本展示では、写真や動画のなかで中国の鵜飼を特徴づけるものを選びました。中国における鵜飼の特徴とは、地域による技術の多様さとカワウの人工繁殖、生業としての漁法です。このような特徴を踏まえ、写真や動画、標本資料を「中国各地でみられる鵜飼」、「持ち運びが便利な双胴船」、「カワウを繁殖させる技術」、「カワウを利用した漁の技術」という 4 つのテーマに分けて公開しています。

とくに、中国では各地の漁師たちがカワウを自宅で繁殖させ、ヒナを育てて利用しています。こうしたカワウの人工繁殖は、世界中をみても中国の鵜飼でしかおこなわれていません。本展示を通して、鵜飼の技術や知識、鵜と人間とのかかわりを理解していただければ幸いです。

[展覧会のみどころ]

- ■ 本展示では、本館の卯田宗平が中国各地で撮影した鵜飼に関わる写真や映像、本館所蔵の珍しい鵜飼い船の展示を通して、カワウをいかに飼い慣らしているのか、なぜ鵜飼が生業として成りたつのかを考えます。
- ■ とくに、カワウの人工繁殖は世界中をみても中国の鵜飼でしかおこなわれていません。その技術を写真と映像で紹介します。
- ■ 中国の鵜飼に関わる写真や映像は、本邦初公開です。

[資料点数]

写真　37点、標本資料　5点、映像資料　3点

[展示構成]

1、 中国各地でみられる鵜飼
2、 持ち運びが便利な双胴船
3、 カワウを繁殖させる技術
4、 カワウを利用した漁の技術

[プロジェクト・リーダー]

卯田　宗平（国立民族学博物館・准教授）
専門は環境民俗学、生態人類学。主な著書に、『鵜と人間』、『外来種と淡水漁撈の民俗学』、『鵜飼いと現代中国』、『野生性と人類の論理』（編著）など。琵琶湖で淡水漁撈の研究を始めたあと、中国に長期留学する。長江流域を歩き回るなかで生業としての鵜飼い漁を目にし、フィールド調査を開始。その後、日本や東欧の鵜飼も調査し、一連の成果を人-動物関係論やドメスティケーション（家畜化）論に展開する。

[プロジェクトメンバー]
亀田佳代子(滋賀県立琵琶湖博物館　副館長)

[開催概要]

展　示　名	コレクション展示「現代中国を、カワウと生きる―鵜飼い漁師たちの技」
会　　期	2022 年 6 月 30 日(木)～8 月 2 日(火)
会　　場	国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10－1） 本館企画展示場の一部
開館時間	10:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休　館　日	水曜日
観　覧　料	一般 580 円（490 円）、大学生 250 円（200 円）、高校生以下無料 ※（）は 20 名以上の団体料金／リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主　　催	国立民族学博物館

［関連イベント］

■みんぱくゼミナール

「鵜と人間――ウミウ産卵の謎解きから」

会　　場	国立民族学博物館　みんぱくインテリジェントホール(講堂)
日　　時	7月16日(土)　13:30～15:00 (13:00開場)
講　　師	卯田宗平(本館　准教授)
参加方法	要事前申込/先着順/無料
内　　容	1500年以上の歴史をもつ日本の鵜飼において、2014年5月に珍しい出来事が起こりました。鵜が産卵したのです。なぜこれが珍しいのか。本講演ではウミウ産卵の謎を解きながら日本の動物利用の特徴を紹介します。

人工孵化で誕生したウミウ(2014年)

［お問い合わせ］　国立民族学博物館　総務課　広報・IR係
電話: 06-6878-8560(直通)　　Fax:06-6875-0401　　Mail:koho@minpaku.ac.jp
プレス向けウェブサイトwww.minpaku.ac.jp/press

コレクション展示「現代中国を、カワウと生きる —鵜飼い漁師たちの技」広報用画像リスト

【1】漁が終了し、カワウを止まり木に戻す漁師
（江西省鄱陽湖）

【2】船にカワウをのせて漁場に向かう漁師たち
（山東省微山湖）

【3】双胴船に乗り、竹棒を使って前進する漁師たち
（湖北省荊州市）

【4】給餌のとき、目が開いたヒナに人間を確実に見させる
（江蘇省興化市）

【5】船からカワウを湖に放ち、漁を開始する
（江西省鄱陽湖）

【6】夏の暑い日、漁師から水を与えられるカワウ
（湖南省常徳市）

【7】都市部を流れる河川で操業する漁師たち
（江西省南昌市）

【8】コレクション展示　リーフレット画像

これらの広報画像はデータにて提供可能です。
ご入り用の画像があれば、総務課広報・IR 係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。
名称につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。
キャプションの地域名は、省略可です。

コレクション展示「現代中国を、カワウと生きる —鵜飼い漁師たちの技」広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 koho@minpaku.ac.jp
〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX番号: 06－6875－0401

【ご希望の画像番号】

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所　〒	E-mail
電話番号	FAX番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合　　年　　月　　日	

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

☐ ３組６枚　　☐ ５組１０枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

発送先　〒

【広報に関するお願い】

■ 写真使用に関するお願い、注意事項
・クレジットには次のとおり記載してください。
【1】～【7】国立民族学博物館 提供
・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはＦＡＸにて、掲載記事、番組内容の原稿等を上記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を２部お送りください。